

● 令和二年度 れいわ ねんど ひこね子ども文化芸術奨励事業 こ ぶんかげいじゆめいしやうれいじぎやう

夏休み なつやす 文芸テキスト ぶんげい 【詩部門】 し ぶもん

うちまな  
お家で学ぼう！  
じぶん ちから つく  
自分の力で作ってみよう！



ひこね・いじゆん・ゆめを

自分のじやげん

詩部

主催 しゆ さい 彦根市・彦根市教育委員会 ひこねし ひこねしきやうじゆかい

協力 きやうりきく 彦根文芸協会 ひこねぶんげいきやうかい

# 1 詩は、みなさんのくらしの中に

いっぱいあります。

① 小さい時から、詩を聞いたり、読んだり、書いたりしてきました。

〔例えば…〕 ・ 絵本のことば ・ 歌のことば（歌詞といいます。）

・ 学校の教科書（どの学年にもせられています。）

・ 大人の歌う歌 ・ コマーシャルなどのことば

（いろいろなところに使われています。）



② 詩には、字数や長さなどの決まりはありません。

○ 書きたいことを自分の言葉で、自由にのびのびと表せます。

○ 長さは自由ですが、伝えたいことをなるべく短い言葉で表します。

（短い言葉の方が、読む人に強く伝わりやすい。）

・ 書かなくてもわかる同じ言葉は、何度も使いません。

・ けれども、時には同じ言葉をくり返し、伝えたいことを強く表したり、

リズムよく表すこともあります。

○ 行わけをします。

・ 作文のように、長い文にしません。

・ 句点「。」や読点「、」のところで、行をかえるといいです。

○ 「題」をつけます。

## 2 読む人の心に「よい詩だなあ」と伝わる

詩を書くために。

### ① 詩の材料を見つけてみましょう。

《どんなことを詩に書くか》

○ 自分の心に強く残ったことを見つけよう。

|   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・びっくりした</li> <li>・みつけた</li> <li>・やさしいなあ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしかった</li> <li>・すごいと思った</li> <li>・かわいそう</li> <li>・がんばった</li> <li>・楽しかった</li> <li>・すごいなあ</li> </ul> |
|---|---|



《どこにあるか》

○ それは、まい日のくらしの中にあります。

- ・飼っている動物
- ・育てている植物
- ・家族
- ・友だち
- ・旅行
- ・学校
- ・出来ごと
- ・見たこと
- ・読書
- ・ゆめ
- ・など

### ② どんな様子をどんな言葉でかくか。

○ 自分が見つけた言葉で書いてみましょう。

○ 相手（人・動物・植物・物など）の気持ちになって書いてみましょう。

- ・見つけたようす ……【目で見たこと】
- ・聞いた声・音 ……【耳で聞いたこと】
- ・自分がやったこと ……【体で感じたこと】
- ・ふれた感じ ……【手・足で感じたこと】
- ・ゆめ・気持ち・思い ……【心・頭で感じたこと】

かんが 考えたこと

### 3 お友だちの詩を読みましよう。

① 声を出して読んでみよう。(作った人の気持ちになりきって読んでみよう。)

② すきなところ・良い表わし方だなあ、と思ったところ、

線( )を引いてみましょう。

なぜすきか、良いと思ったかを、短い言葉で書いてみましょう。

① わたしのかみの毛

(小学二年生)

わたしのかみの毛は  
ひまわりみたい  
くるくるどあつらけど  
といだらからまるけど  
ふわふわで  
かんかんぼうしをかぶると  
ぼわんとなる  
でも耳にかけるとそれは  
なかったようになる



② たからもの

(小学四年生)



キラーン！  
夜にカヤックで空を見ていると  
きれいな星がたくさん  
小さな星から 大きな星まで  
まるでわたがしのよう  
また見てみたい たからもの  
ザブーン！  
船から下りて海を見ていると  
きれいな魚がたくさん  
小さな魚から 大きな魚まで  
まるでこんぺいとうのよう  
また見てみたい たからもの

### ③ おしやべり

(小学五年生)

真夜中の0時になると  
とまっていたぬいぐるみがうごきました  
たがいにたすけあいながら  
よいしょよいしょと平らな土地へいざいざ  
夜の大きさがはじまった！  
きみ なんていうの？  
わたし くまのくーちゃん！  
ぼく くーくん  
にってるねっ  
大きなふとんにのってポヨンポヨン  
風船をただいてただいて  
バンッ  
大きな音にみんなはびっくり  
そしてあの子がおきだした  
みんな いそいで死んだらぶり！  
ハイッ  
そのかけ声と共に  
朝が来た！



### ④ 希望の花

(中学三年生)

魂は旅をする  
いくつもの時をこえ  
いくつもの星をこえ  
我が身に宿るまでの間  
どれほどの世界を見たのだろう  
どれほどの時空をこえたのだろう  
魂には一瞬でも  
私には一生の思い  
魂は何度も身に入り  
そして何度もくり返すらしい  
私はそんなくり返しの一っ  
あの日つまれおちて  
あの時はまだ何も知らなくて  
ただ楽しいだけの日々  
いくつもの時を過ぎて  
初めて知ったあの気持ち  
いつも闇に包まれて  
心はいつも青い闇  
ただ終わりの見えぬ日々  
でも決して無駄にはならず  
今になって初めてわかる  
あの一時は あの想いは  
決して無駄ではなかったと  
だが今でもこわくなる  
あの時を思い出すたびこわくなり  
心には青い闇  
ポタリ  
ポタリ  
一度崩れたあの頃が  
今では種となり  
今では水となり  
今では土となり  
今では光となり  
魂をこえ咲きほころう  
希望の花 ガーベラ  
花びら一つ欠かさずに  
明日をこえて咲きほころう  
大きく強く 希望の花



